



昭和町立押原小学校
CS学校通信 NO. 2
令和6年5月17日
校長 深澤 秀興

■ 校長室の窓辺より ■

学校が本格的に動き始めて

押杜や中庭の木々の緑が鮮やかな季節となりました。校区を巡ると花々が美しく咲き誇り、このような環境で教育活動や子育てが出来るのは、何とも幸せなことだと感じています。正門前の“れんげ畑創出作戦”は、2月の降雪の影響で頓挫してしまいましたが、子どもたちは代わりに押杜川沿いのシロツメ草を摘んでは、花飾りや花束をつくり、有難いことに窓越しに届けてくれます。

さて、新年度がスタートして二^{ふた}月に成ろうとしています。この間、授業参観、家庭訪問、大型連休を経て、学校が本格的に始動しました。既に、1年生、3年生は校外学習に出かけました。5月29日・30日には、5年生が林間学校に出かけていきます。（修学旅行は、7/3～5日を予定しています。）各クラスとも緊張感が徐々にほぐれ、新しい担任の下での集団生活を構築しています。

そんな中、子どもたちの様子を見るために学校内を巡っていると、ここかしこで子どもの成長した姿に出会うことができ多く、とても嬉しなります。

昨年までは出来なかったことが出来るようになった個の姿、落ち着き、思いやり、優しさが漂うクラスの雰囲気。「次の学年に向け、成長というレールに確実に乗ったな。」と実感する瞬間です。一方で、367名のお子様をお預かりすると、中には令和6年度というレールに乗り切れていないお子様や新たな課題も見え隠れし始めました。課題に対しては、学校体制の中でどのように取り組むべきか、常に「改善」を試みながら、子どもたちの成長を保障していきたいと思います。また、気になることがございましたら、些細なことでも結構ですので、どうぞ学級担任や学年主任、教頭など学校側にお伝え頂きたいと思います。

さて、「今年度は“もっと³ いい学校”（もっと もっと も〜っと いい学校）を目指して行きたい」というお話をPTA総会の折に、させていただきました。これは、昨年までの押原小の“よさ”を生かしつつ、改善を図りながらプラスαをしていきたいという考えです。この方針の中心は、紛れもなく、コミュニティ・スクールとしての活動の推進です。保護者・地域に対して開かれた学校を目指しつつ、更に地域と連携・協働しながら魅力溢れる学校を創っていく。そのために、昨年実施したサマースクール・押杜っ子CLUBの見直しや、防災教育の一環として保護者への児童の引き渡し方法の再考等々、改善策を検討し始めました。乞う、御期待いただきたいと思います。更に、その過程で、保護者・地域の皆様に協力要請・ボランティア募集をさせていただくことになると思います。その折には是非、御理解と御協力をお願いします。



〔緑輝く押原の杜〕

保護者の皆様はもとより地域の皆様方にも御存知の方はいらっしゃると思いますが、本校ではコミュニティ・スクール活動の一環、開かれた学校づくりの一助として、本校ホームページにて、blog（ブログ←いわゆる、学校日記）を毎日更新しています。押原地区「皆様の学校」の今、子どもたちの微笑ましくも素晴らしい姿、校内に流れる空気感、学校をお預かりしている校長の考え等々を日替わりでお届けしています。先週からは、1日おきに、学級担任が執筆を行っています。概ね毎回300名近い方が御覧下さるこのblog。パソコンのみならずスマートフォンでも、押原小学校のホームページをお開き下さればどなたでも御覧頂けます。お昼の時間やお風呂上がりなど、一寸した時間を見つけては御覧頂きたいと思います。こちら、乞う、御期待！



〔似合いますか？〕

【裏面も御覧ください】

地域・保護者の方の声&真の“勇気”

家庭訪問が終わり、授業参観、PTA総会、学年総会、家庭訪問といった年度始めの諸行事が、一区切りとなりました。御多用の中、諸活動への御理解と御協力に深く感謝します。有難うございました。さて、4日間の家庭訪問の裏で、地域の方から、学校に苦情連絡が1件ありました。電話の内容は、「小学生が空き地の石を投げ、道にばらまいています。指導して下さい。」というものでした。早速、教頭先生が現場に急行して下さいましたが時既に遅く、当該児童はいませんでした。帰校した教頭先生からの報告を受け、どのような指導をするか協議しました。そして、翌日の昼の放送で事実を伝え、自ら名乗り出ることを期待することにしました。「自ら名乗り出る」。私には、この「自ら名乗り出る」という行為に、寸分の不安も有りませんでした。「ウチの子どもたちなら反省し、自ら名乗り出る」であろうと、確信に似た思いがありました。果たせるかな教頭先生の放送の後、下校前に、一人の男児が担任の先生に連れられて、私の所にやってきました。彼は、もう泣いていました。叱られる事への怖れの涙ではなく、自責の涙に見えました。確かに、普通であればお目玉を食らっても仕方の無いこと。そこを、彼は「自ら名乗り出た」のでした。これをして「勇気」と言わずして、何を「勇気」と言うのでしょうか。そして、いい子になるために、「勇気」を振り絞って名乗り出た男児の力を「生きる力」といわずして、何を「生きる力」と言うのでしょうか。私が彼を叱らず、むしろその勇気を称えたのは言うまでもないことです。これが、本校の教育方針です。男児の名前を公表したいところですが、彼の名誉もあるので・・・。



上級生の下級生への思いやり&優しさ～輝くHeroたち～

Hero 話2題。第1話。携帯電話番号を交換している、とあるお母さん（保護者様）から次のショートメールが来ました。「おはようございます。今日は、築地地区の旗振りをしていました。6年生の班長さん以外は皆傘を持たずに登校していたようで、旗振りの交差点に来る頃には濡れていました。すると班長さんは、自分の傘を1年生に貸してあげたようです。ぜひ誉めてあげて欲しいと思い、連絡させていただきました」と。私は即「了解！とっても嬉しい連絡、ありがとう！！ビックにほめます。」と打ち返しました。私は、お昼の放送を用いて、班長さんの善行をお知らせすると共に、ビックに誉めました。学校がこのように、保護者・地域と繋がっている。大事なことだと、改めて感じました。6年班長は、横田ひなきさん



[Hero's]

でした。第2話（その後）。ある先生が校長室を訪れ、「女兒が3名職員室に来て、ウチの班長 長田あやねさん（5年）も、1年生に傘を貸していました。校長先生に誉めてくれるよう伝えてください、と言っていました」とのこと。聞けば名前を言わず、立ち去ってしまったそうです。（←映画のようです。）長田さんも立派ですが、それをわざわざ伝えに来た女兒3名も誠に立派でした。その3名とは、4年の佐野しおんさん、古屋ひなたさん、佐久間しずくさんでした。

私は集団登校のよさ、異年齢で学ぶことのよさ（本校の学校教育目標は「ともに学び合い・・・」となっています）は、このようなことだと思っています。ここに名前を記した5名の子どもたち。皆さんは、小さな Hero です。

【6月】の主な予定

1日（土）	合唱部練習	20日（木）	授業参観・通学路点検・クリーン活動
3日（月）	プール授業開始・歯科検診3年	22日（土）	合唱部練習
4日（火）	2年歯科検診	25日（火）	全校歌声集会
5日（水）	3年社会科見学・1年歯科検診	27日（木）	4年校外学習（お弁当）
6日（木）	6年親子学習会・修学旅行事前説明会	29日（土）	合唱部練習
10日（月）	きずな祭り・第1回学校運営協議会		
11日（火）	2年生活科見学		
12日（水）	体重測定5、6年		
13日（木）	CSクリーン活動・体重測定3・4年		
14日（金）	体重測定1・2年		
15日（土）	合唱部練習		
18日（火）	第2回文化広報部会		



*詳細は学年だより等で、御確認ください。

【本校ホームページ内で、日々blog更新中】